

広報

ひたち
おおた



特集

はばたけ、若きアスリートたち … P2~7

おめでとうございます	P8~9
朝イチ navi / ひたちおおたの逸品	P10
第4回市議会定例会	P15
まちの話題	P18~20
ひたちおおたてくてくウォーク	P21
みんなの学び舎 / 部活がんばってます	P23

平成25年(2013)

10 月号

No.623

【強く、そして美しく】



特集 はばたけ、若きアスリートたち

Challenge!

先月、2020年のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決定しました。前年の2019年には茨城国体も開催されます。今から待ち遠しいスポーツの祭典で中心となる世代が、現在の中学生・高校生。今月号では、全国大会・関東大会などの大舞台を経験した、“常陸太田の若きアスリートたち”を紹介します。



関東2位の實力者、 念願のインターハイへ

太田二高なぎなた部3年

小泉里緒菜さん

RIONA KOIZUMI

「2019 茨城国体にも出場したい」

「今年4月の県大会では、個人で優勝することができました。6月に出場した関東大会では、心を落ち着けると同時に、勢い余るぐらいの強い気持ちで試合に臨みました。決勝で戦ったのは山梨県の有名な強豪選手。対戦できたことは良かったのですが、優勝しなかったので負けてしまい残念でした。

6月のインターハイ予選は県2位で通過。インターハイは入学当初からの夢・目標でした。太田二高なぎなた部としては最後の試合だと思い、全国レベルで結果を残して後輩たちにバトンを渡そうと頑張りました。結果は予選リーグで1勝1敗。負けた相手は3位になった選手で、強い相手と対戦でき良い経験になりました。また、9月の東京国体にも県代表として出場することができました。

なぎなたと出会って、精神的・肉体的に強くなり、集中力もついたと思います。仲間大切さなど、原口先生や先輩から学んだことがたくさん。卒業後もなぎなたを続けて、6年後の茨城国体を目指します」



主将として名門をリードする

「小学1年生の時からスポーツ少年団で空手を始めました。母が空手をしていたので、中学時代は毎日「形」の指導を母から受けていました。高校は、今年で35年連続インターハイ出場の水城高校に進学。2年生からは主将を務め、現在は空手2段です。試合は、形と組手がありますが、形が得意で、県大会は2年連続優勝。関東大会では、準優勝することもできました。インターハイには3年連続で出場。1年生の時は個人形でベスト32。2年生では1回戦敗退。3年生では個人形でベスト32と団体組手ベスト16でした。高校の集大成として臨んだ今年のインターハイでしたが、3回戦で世界チャンピオンの選手と対戦する組み合わせ。大会前は、初め緊張する気持ちがありましたが、母が毎日学校に来て遅くまで練習を指導。

試合が近づくにつれて自信がつき、どこまでできるかワクワクする気持ちになりました。結果は残念でしたが、準備した過程は間違っていなかったと思います。空手道部の主将としては、自分の練習のほかに同級生や後輩の動きに配慮し、周りを見ることを意識しています。また、つらい時こそ笑顔を出して、率先して場を盛り上げるよう心がけています。

大学でも空手を続けて、2019年の茨城国体で活躍できるよう頑張っていきたいです」



個人“形”で県大会連覇 インターハイ3年連続出場

水城高空手道部3年

三井愛理さん

AIRI MITSUI 峰山中出身



演技で魅せる

太田二高なぎなた部3年

井坂菜美さん

MAMI ISAKA

「関東大会に演技の部で出場しました。優勝を目標に臨みましたが、2回戦敗退。悔いは残りますが、小泉さんと思いきり演技ができました。なぎなたは人間を育ててくれる競技。高校入学時は人間が全くできていなかった私ですが(笑)、原口先生の指導と仲間たちのおかげでここまでやってくることができました。この3年間で「絶対に負けたくない」というあきらめない勝負心を身につけることができました。卒業後もなぎなたを続けて、高校で結果を残せなかった“試合”での勝利を目指してがんばります」



関東大会3位 2013国体出場

太田二高なぎなた部3年

生田目紗也香さん

SAYAKA NAMATAME

「関東大会は初出場で緊張しました。相手が強くて押されてしまうこともありましたが、自分も負けたくない気持ちを出して勝利をつかみました。東京国体では団体戦のメンバーとして出場しました。中学時代は、何に対しても最初からあきらめたりしていました。高校からなぎなたを始めて、忍耐力・我慢強さが身につけて、強い自分になれたかなと思います。いろいろなことを学んだ3年間でした」



可能性に気づいて

なぎなたは、身長や体重、年齢などに関わらず、それぞれの個性に応じてできる競技です。打ち込むところは面々小手々胴々すねまであるので、自分の得意技がきつと見つけられるでしょう。生徒には周りへの感謝の気持ちと、あきらめない心を持たせるよう指導しています。勝敗にはこだわりすぎず、練習の中で限界に挑むことで、自分の可能性を見つけてほしいと思っています。茨城では高校から始める人がほとんどなので、自分の努力次第で道は開かれています。ぜひ多くの人にその魅力にふれてもらいたいですね。



太田二高なぎなた部顧問の原口飛鳥先生は、四段の腕前。



なぎなた部の皆さん

日々の努力でつかんだ全国切符

「小学2年生から東海村にあるクラブで卓球を始めました。父が卓球部の顧問をしていたり、姉も習っていたので、自然と卓球の世界に入っていました。小・中学生のときはクラブで週6日練習。高校生になってからは休みなしで、高校の部活を途中で切り上げてクラブに通う毎日。平日は2時間半、休日は3～5時間、集中して打ち込みました。

高校では3年連続でインターハイに出場することができました。予選の県大会の結果は、1年がシングルス3位、ダブルス2位。2年ではシングルス5位、3年ではシングルス5位、ダブルス2位。それぞれの種目でインターハイに出場しましたが、すべて1回戦で負けてしまいました。全国には強い選手が多いと改めて実感。目標としていた3年連続出場を達成できてうれしかったですが、全国で良い結果が残せずに、少し悔いが残りました。

最初は何気なく始めた卓球でしたが、いろいろなことを教えてもらって強くなっていくうちに、試合で勝てるのが楽しくて、今まで続けてきました。新しいサーブや攻撃の動きなど、練習した技が試合で通用するととてもうれしかったですね。

卓球は高校で一区切り。卒業後は進学先でしっかり勉強して、新たな目標に向かって進んでいきたいと思っています」



インターハイ 3年連続出場達成

日立商高卓球部3年

黒澤千映美さん

CHIEMI KUROSAWA 峰山中出身

自分自身との戦いに挑む

「今年のインターハイ県予選では、16射13中。13本の中選手が4人いたので、その4人で「射詰め」という外したら脱落する競技を行い、4本続けて的中し優勝することができました。この試合で負ければ、3年生にとっては最後の大会。5人で出場した団体戦には、絶対に最後にしたくないと集中して臨みました。

インターハイでは、ベストを尽くしましたが、予選で4射2中。予選突破ラインの3中ができず、準決勝に進むことはできませんでした。



高校から姉の影響で始めた弓道。一人で戦う競技なので、精神力と集中力が少し高まったかなと思います。当たらないときは何をやっても当たらないので、悲しくなる時もありますが…(笑)。

これからもさらなる高みを目指してがんばります」

県大会を制した2年生 インターハイ初出場

太田一高弓道部2年

宇野如月さん

KISARA UNO



校内にある弓道場“益習道場”で稽古に励む太田一高弓道部の皆さん





走り幅跳びで県内無敵 初の“全中”に挑む

太田中野球部3年

和田有生さん

YUKI WADA

俊足の野球部主将、陸上で全国へ

「8月に愛知県で開催された『第40回全日本中学校陸上競技選手権大会』に、走り幅跳びで出場しました。昨年秋の県新人、6月の県通信陸上、7月の県総体と3連覇して挑んだ全国大会でしたが、記録は6m34cmで決勝に進むことはできませんでした。

県総体以降、助走距離を長くして調整していましたが、本番ではうまく踏み切りを決めることができませんでした。緊張はしなかったものの、自己ベストの6m61cmには及びませんでした。ただ、中学校最後の大会で、悔いを残すことなく跳ぶことができたのは、良かったと思っています。

走り幅跳びは、跳んでいるとき、宙に浮いているときがとても気持ちいいですね。難しいところは、踏み切りで足を合わせるところです。

陸上競技からは感謝する心を学びました。太田中には陸上部がありませんが、いろいろな部活の顧問の先生が指導してくれました。本当にありがたいと思っています。

高校では陸上部か野球部のどちらかに進み、また全国の舞台に立てるようにがんばります」



稽古に励み、歩む剣の道

「9月に行われた『第8回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会』に、団体戦のメンバーとして出場しました。この大会は団体戦のみで、県内の道場に通う中学生から、予選の試合を経て選抜されます。県予選では個人2位でした。

全国大会は、先輩たちを上回る成績を目指してがんばりました。副将として団体戦に出場し、1勝1敗。チームとしては1分1敗で、上位進出はできませんでした。

剣道は小学1年生から始めて、現在も青龍剣士隊の道場に通っています。得意技は特にありません。練習では、左足のかかとを床につけないことと、飛び込んだ後に左足を早く引きつけることに注意しています。

剣道の好きなところの一つは、試合などでたくさんの友人ができることです。夏の暑さや冬の寒さはきびしいですが…(笑)。それから挨拶もできるようになりました。高校でも剣道を続けて、良い成績を残したいですし、大人になっても続けていきたいと思っています」



剣道2段の猛者、 いざ全国の舞台へ

太田中剣道部3年

飯塚耀人さん

AKITO IIZUKA



稽古中には後輩へのアドバイスを欠かさない





200m バタフライで 2 回目の関東大会へ

「1 年生で関東大会に出場しましたが、その冬に足を大けがし、2 年生の大会は断念せざるを得ませんでした。その分、3 年生で関東大会に出場することを目標に、リハビリ・筋力トレーニングなど、必死で練習。今年再び関東の舞台に立つことができました。この“あきらめない”気持ちを今後の生活でも大切にしていきたいです」



太田一高水泳部 3 年
熊谷理緒さん
RIO KUMAGAI

関東大会で健闘

10,000 m

会沢 遊太郎 さん YÛTARÔ AIZAWA 3 年

「応援してくれた仲間や家族のみんなに感謝の気持ちでいっぱいです。11 月 6 日の県高校駅伝に向けて練習に励みます」

400m / 4 × 400m リレー

大森 結加 さん YÛKA ÔMORI 3 年

「高校最後の関東大会では変に緊張せず、シーズンベストを出せました。自分の成長を感じることができた大会でした」

4 × 400m リレー

鯉淵 彩花 さん AYAKA KOIBUCHI 3 年

「目標としていた関東大会に出場でき、うれしかったです。陸上でお世話になったすべての方に感謝しています」

800m

今野 雄斗 さん YÛTO IMANO 2 年

「関東のレベルは高く、納得のいく走りができませんでした。この悔しさを忘れず、来年はインターハイを目指して頑張ります」

400m ハードル / 4 × 100m リレー / 4 × 400m リレー

片根 凧彩 さん NAGISA KATANE 2 年

「目標としていた個人での出場はできましたが、今の力では全く通用しないので、毎日の練習を大切にしていきます」

三段跳び / 4 × 100m リレー / 4 × 400m リレー

中振 歩美 さん AYUMI NAKAFURI 2 年

「個人で初出場。力を発揮できなかつたし、今の自分では通用しません。今回学んだことを生かし、練習に励みます」



太田一高 陸上部

関東大会に出場した太田一高陸上部の皆さん
(左から)中振歩美さん、片根凧彩さん、
鯉淵彩花さん、大森結加さん、篠原由妃さん、
岩田美紀さん、会沢遊太郎さん、今野雄斗さん

4 × 100m リレー / 4 × 400m リレー

岩田 美紀 さん MIKI IWATA 1 年

「初めてのリレーで難しさを実感。今後は走力を上げて、鯉淵先輩くらい 100m が速くなれるよう頑張ります」

4 × 100m リレー / 4 × 400m リレー

篠原 由妃 さん YUKI SHINOHARA 1 年

「目標タイムには届かなかったものの、それに近い走りことができました。先輩を見習って良い結果を残したいです」

佐竹高陸上部 3 年

佐藤花菜子 さん
KANAKO SATÔ



走り高跳びで 関東大会へ

「県大会を 2 位で通過し関東大会に出場。高校に入り 2 年間記録が伸びず不安でしたが、最後に 150cm を飛べてとてもうれしかったです。関東大会は他県開催で緊張しましたが、強い選手の中で競技ができて良い経験になりました。頑張っていれば記録は伸びるんですね。絶対にあきらめないことが大事だと学びました」

陸上 800m で 関東大会出場

「県大会は 4 位で 6 月の関東大会に出場しました。予選から全員が 1 分台というレベルの高さで、0.1 秒の差が左右する一瞬も気を抜けない試合でした。自己ベストの 1 分 56 秒 10 を出したものの、わずかな差で決勝進出を逃しました。8 月の関東陸上選手権にも出場。何事にも基本から全力で取り組むことが信条です」

佐竹高陸上部 3 年

大森貴司 さん
TAKASHI ÔMORI





卓球個人で 関東大会出場

「関東大会に出場でき、とてもうれしいです。大会では、強い相手に積極的に勝ちにいきましたが、残念ながら1回戦敗退になってしまいました。高校へ進学しても卓球を続けて、インターハイ出場を目標に勉強・運動に頑張っていきます」

瑞竜中卓球部3年
大津龍哉さん
RYUYA OTSU



ソフトテニスで全国へ

「全国大会では2回戦敗退で、レベルの高さを痛感。来年は今年より良い結果を残せるよう頑張ります【増子さん/写真⑤】。昨年の全国大会よりも多く勝つことが目標でしたが、悔しい思いをしました。活動を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちと今年の経験をバネに来年も頑張ります【木村さん/写真⑥】」

太田一高定時制ソフトテニス部

増子英樹さん 3年 HIDEKI MASHIKO
木村隼人さん 2年 HAYATO KIMURA

100mで 関東大会へ

瑞竜中陸上部2年

松本隆臣さん
TAKAOMI MATSUMOTO

「関東大会では、自己ベストの11秒77で16位という結果でしたが、良い経験になりました。陸上は、自分が苦しんだ分、結果が後からついてくる競技なので、自分に打ち勝ち、来年も大会に出場できるよう頑張ります」



瑞竜中陸上部2年

片根洋平さん 3,000mで
YOUHEI KATANE 関東大会へ

「関東大会では、自分の本来の走りができずに9分36秒という結果。自己ベストの9分10秒を超えることができません。まずは、今年の冬に中学生駅伝大会があるので、それに向けて練習し、良い成績が残せるよう頑張りたいです」

太田中弓道部 第24回関東中学生弓道大会 団体出場・個人3位

鈴木楓也さん FUYA SUZUKI 3年

「団体で決勝に残れず、悔しい思いが強いです。いつも通りの射ができず8射2中でした。高校でも続けてレギュラーに入り、試合に出て賞を取れるようにがんばります」

長山優希さん YUKI NAGAYAMA 3年

「8射3中。昨年よりは緊張しなかったものの、いつもと少し違いました。精一杯やることはできたので良かったです。高校でも続けて、良い成績を残したいと思っています」

關根祐也さん YUYA SEKINE 3年

「今回はバックアップメンバーとしての参加でしたが、気を抜かずに準備していました。中学で身につけた集中力を生かして、高校では多くの大会に出場したいです」

後藤龍さん RYU GOTÔ 2年

「関東大会は8射7中で、個人3位に入りました。自分の納得できる結果となりうれしかったです。今年は部長になったので、1年生をしっかりとめて、来年も関東大会に出場し、今度は団体・個人とも優勝を目指したいと思っています」



関東大会に出場した太田中弓道部の皆さん
(左から) 鈴木楓也さん、後藤龍さん、
長山優希さん、關根祐也さん



峰山中野球部

第39回関東近県中学生 選抜野球大会出場

◇主将 八木澤英士さん

「関東大会は、初戦で東京代表の新小岩中に2-0で勝利。準決勝は神奈川代表の大沢中に0-1で敗れました。県外の強豪と白熱したゲームができたのは収穫でした。野球部では3年間、同級生14人と共にプレーできたことに喜びを感じています。そして支えてくれた家族、熱心に指導してくれた先生へ感謝の気持ちでいっぱいです」

道路美化で国土交通大臣表彰

道路の美化に長年にわたり貢献してきた谷河原三四会（篠原正吉会長）が、このほど国土交通大臣表彰を受賞しました。

同会は、平成18年3月に県から道路里親の認定を受け、以降、毎月国道349号の清掃や除草、プランターの設置などの美化活動を続けてきました。

表彰を受け、篠原会長は、「長年続けてきたことが認められてうれしい。ちょっと放置すると街や

ごみがアツという間に山となる。今後も道路美化を続けていきたい」と話していました。



大久保市長[㊟]に報告に訪れた、谷河原三四会の篠原正吉会長[㊤]と篠原勝幸事務局長[㊦]

救急医療功労者を表彰

救急の日および救急医療週間に当たり、長きにわたり救急医療現場で活躍されている方々に対し、9月9日、消防本部において救急医療功労者表彰を行いました。

阿久津尚子さん（西山堂病院）
大賀智子さん（川崎病院）
堀越恵美子さん（大山胃腸科外科病院）
関さゆりさん（藤井病院）
高野康子さん（渡辺医院）
宮本香奈子さん（小林医院）



前列左から 阿久津さん、大賀さん、堀越さん
後列左から 関さん、高野さん、宮本さん

全国高校総合文化祭・弁論の部で入賞

文化部のインターハイと呼ばれる全国高校総合文化祭。今年は8月1日～3日、長崎県で開催され、太田一高3年生の藤田春樹さんが弁論の部に出場しました。藤田さんは、500人の聴衆を前に、「思いを未来へ繋ぐために」と題して発表。戦争の悲惨さと東日本大震災の経験を後世に伝えるべく、

「文化部のインターハイと呼ばれる全国高校総合文化祭。今年は8月1日～3日、長崎県で開催され、太田一高3年生の藤田春樹さんが弁論の部に出場しました。藤田さんは、500人の聴衆を前に、「思いを未来へ繋ぐために」と題して発表。戦争の悲惨さと東日本大震災の経験を後世に伝えるべく、



藤田 春樹 さん

「今回3度目の全国大会出場となり、過去2回の大会での失敗をうまく成功につながられたと思います。私の弁論部の活動はこれで終わりですが、来年の茨城総文祭に出場する後輩たちへのアドバイザーとして、初心に戻ってまた頑張っていきたいと思います」

ママさんバレーで関東大会出場

ママさんバレーボールチーム ヴェナス（武捨弥生代表）が、6月に行われた関東ママさんバレーボール大会県予選で3位となり、9月の関東大会に出場しました。

前身の世矢クラブから何十年も続く伝統の世矢VENUS。現在は幅広い年齢層の13人で活動しています。武捨さんは、「お互いの良い所を引き出せるように、みんなで声をかけ合いながら練習して

習しています。目標は全国大会です」と力強く話してくれました。



世矢 VENUS の皆さん

長寿を祝う

本市で今年100歳を迎えた方は24人、101歳以上の方は35人いらっしゃいます。最高齢は石井はなさん（久米町）の107歳です。

また市では、高齢の方に対し、長寿を祝福するとともに、社会に貢献された労をねぎらうため、米寿、白寿、100歳以上の皆さんにお祝いを差し上げています。敬老の日に当たり、大久保太一市長が訪問して長寿を祝したお二人をご紹介します。



11月で100歳に
酒井とくさん
(大中町)

長生きの秘訣は格別何もないですが、家族の作ってくれた食事を好き嫌いなく何でも食べています。電話も普通に應對できますし、悪いところはどこもなく、90歳までは順番もしていました。週に何日かは社会福祉協議会の生き生きふれあい事業に通って皆さんとお茶を飲みながら雑談し、折り紙や健康体操などを行います。楽しい一日を過ごしています。家族のおかげで長生きができたと感じています。



9月で100歳に
大高てるさん
(大方町)

耳が少し遠くなりましたが、悪いところはなく目も良く見えるので、絵を描いたり、新聞をよく読んでいます。市長さんの活躍も新聞で見えています。小説を読むことが好きなので、孫たちが本の贈り物をしてくれます。野球が若い時から大好き。ナイターがあると家族が寝ても結果が気になり一人で見ています。巨人が勝つといい気分でお風呂に入って寝ることがありますね。皆さんのおかげで毎日気持ちよく生活ができています。

お米 de スイーツ 7

常陸太田市産の米粉を使ったスイーツコンテストで入選した作品のレシピをご紹介します。
圃生産拡大・商品開発推進室 (☎ 33-8753)

常陸太田米の フロランタン



発案者の一言
櫻井有希子 さん
(つくば市)

常陸太田市の自然豊かな土地で育てられた米粉と米をふんだんに使用しました。普通はアーモンドを使うところを、代わりに昔懐かしいポン菓子を使いました。

材料 (30個分)

クッキー生地

米粉 …180g
薄力粉 …30g
常陸太田市産しょうゆ 8g
バター …100g
グラニュー糖 30g
卵 …1個

フィリング

ポン菓子 (米) 70g
バター …40g
グラニュー糖 …40g
生クリーム …60g

作り方

- ① 米粉・薄力粉をふるって合わせる。
- ② 室温にしたバターにグラニュー糖・しょうゆ・卵をすり混ぜる。
- ③ ①と②をさっくり混ぜて、ラップに包み1時間寝かせる。
- ④ クッキングシートの上で生地を麺棒で5mm位の厚さに伸ばす。生地に仕上がりの大きさの切り込みをいれて170℃のオーブンで15分～20分焼く。
- ⑤ フライパンでグラニュー糖・バターを焦がし、生クリームを入れてキャラメルソースを作る。
- ⑥ ⑤にポン菓子を入れ混ぜ合わせる。
- ⑦ 焼き上がったクッキー生地を裏にして⑥を敷き詰める。
- ⑧ 170℃のオーブンで20分焼く。
- ⑨ 冷やし固めたらカットする。

朝イチnavi

萩谷庄寿さん (下河合町)

冬期湛水不耕起栽培米を普及

今から20年

前、「手間も

農薬も要らずに田んぼの生物の力で育て



る冬期湛水不耕起栽培米」の推奨者・岩澤信夫さんに出会って、病気や虫、冷害に強い米づくりをしようと思いました。耕さないのので省労働ではありますが、冬場の水の確保が大変でした。井戸を掘るなどしてようやく一年をとおして水の管理ができるようになりました。この栽培方法は農薬も化学肥料も使わないのでおいしく体にも安全安心です。お客様にも好評でリピーターの方も多くなってきました。人にも環境にもやさしいお米です。ぜひ一度味わってください。



「いばらきエコ農産物」の認証を受けている

新鮮な農産物等で毎回好評の常陸太田朝市。魅力ある商品を発信する出店者の方々を紹介していきます。
 関農政課 (☎ 33・8752)

うちだ庵 (内田町)

関山洋平さん

そば好きが出発点

自分で作った手打ちそばとそば粉をメインに、その他に米やもち米なども販売しています。第



人気の手打ち二八そば

1回の朝市を見に行つて、好きなそばで自分でもやってみようと、第2回から欠かさず出店しています。最初のうちは、仕入れたそば粉でそばを打つていましたが、今は自分で種から「常陸秋そば」を栽培して使っています。趣味でやっていた頃とは違人大変さもありますが、お客様に買っていたら嬉しいと言っていただけだと嬉しいですし、生きがいや張り合いを感じます。これからもおいしいそばを提供するため、頑張っていきたいと思えます。



ひたちおおたの
 made in
 Hitachiota

逸品 7

市内には優れた農林水産物や加工品などが数多くあります。その中から市の特産品認証制度で認証された特産品を紹介していきます。

関市特産品推進協議会事務局 (生産拡大・商品開発推進室内 ☎ 33-8753)

光岡 大吟醸

檜山酒造(株)



希望小売価格 (税込)
 720ml 2,415 円
 1.8L 5,250 円

洗米から、製麹、醗酵、上槽まで、細心の注意を払い、じっくりと丁寧に造りました。キメ細やかで、独特な吟醸香がある淡麗辛口のお酒です。芳醇な味わいを冷やしてお楽しみください。

☆アルコール度：17.3度
 ☆精米歩合：40%



松盛 純米

岡部合名会社

希望小売価格 (税込)
 720ml 1,100 円
 1.8L 2,200 円

金砂郷地区の米(日本晴)など、地元産の原料を使用し、米の旨味を生かした自然の味。まったりと滑らかで、飲みあきない純米酒です。お食事に合わせて、常温でも燗でもお楽しみいただけます。

☆アルコール度：15度
 ☆精米歩合：70%

本格そば焼酎 金砂郷

合資会社 剛烈富永酒造店



希望小売価格 (税込)
 720ml 1,000 円
 1.8L 1,900 円

そばの風味を大切に、スッキリと仕上げられた、くせのない飲み口の焼酎です。磨き込んだ透明な味わいの中に、豊かなそばの香りが広がります。

☆アルコール度：25度



常陸太田市特産品認証マーク

脂質異常症とは？

脂質異常症とは、血液中に含まれるコレステロールや中性脂肪のバランスが崩れた状態のことです。動脈硬化の大きな原因となります。脂質異常の状態が長く続くと、やがて脳梗塞や心筋梗塞などの深刻な病気を引き起こします。生活習慣を見直し、脂質異常症を予防しましょう。

脂質異常症 3つのタイプ

◆LDL(悪玉)コレステロールが多い

悪玉コレステロールが余分に増えると血液がドロドロになり、動脈硬化を促進させてしまいます。

◆HDL(善玉)コレステロールが少ない

善玉コレステロールは、余分なコレステロールを取り除く働きをしています。そのため、善玉コレステロールが少ないと、血液中の脂質のバランスが悪化します。

◆中性脂肪が多い

エネルギーとして使いきれないほど、血液中に中性脂肪がたづついている状態です。多すぎる中性脂肪は善玉コレステロールを減少させてしまいます。

血中脂質検査基準

脂質の種類	基準値
LDL (悪玉)コレステロール	119mg/dl以下
HDL (善玉)コレステロール	40mg/dl以上
中性脂肪	149mg/dl以下

脂質異常症は、「過食」と「運動不足」等によるエネルギーオーバーによって起こります。脂質異常症予防のために、**摂取カロリーを減らし、消費カロリーを増やす生活習慣へ改善していきましょう。**

脂質異常症予防のポイント

○腹八分目を心がけ、**食事全体のエネルギーを減らしましょう**

○脂肪の多い肉類やバターなどの**動物性脂肪を控えましょう**

○**食物繊維(野菜・海藻など)を多く摂りましょう** 食物繊維はコレステロールの排泄を促します。

○**こまめに体を動かしましょう** 運動は血液中の中性脂肪を減らし、善玉コレステロールを増やします。運動が難しい場合、家事などの日常生活の活動量を増やすことでも効果的です。

○**適正体重を心がけましょう**

う たまりすぎた内臓脂肪は、中性脂肪を増やし、善玉コレステロールを減らしてしまいます。

☆適正体重の求め方

身長(m) × 身長(m) × 22

(例) 身長160cmの場合
1.6 × 1.6 × 22 = 56.3 kg

○**禁煙しましょう** タバコを吸うと善玉コレステロールが減り、血液中の脂質のバランスがくずれてしまいます。動脈硬化を防ぐためにも、禁煙しましょう。





徳田町

クリーン作戦&地元学発表会

8月4日、徳田町において、地元町会や茨城キリスト教大学のボランティア学生など約60人が参加し、「クリーン作戦&地元学発表会」が行われました。

初めに3班に分かれて国道や市道のごみ拾いを実施。その後、昨年実施した「お宝さがし」や「将来について考える会」など、これまでの取り組みを班ごとに発表し、再確認を行いました。

参加者からは、「想像以上のごみが集まり驚きました」「徳田町にはいい人やいい場所がたくさん」「今後も定期的にクリーン活動を行いたい」など、前向きな意見が聞かれました。



みんなで国道を中心にごみ拾いをしたよ



僕たちも拾ったよ



食事をしながら親睦を深めました



班ごとに発表

赤土町

白いそばの花見会

9月14日、常陸秋そば発祥の地として知られる赤土町で、見頃を迎えたそばの花を楽しみながら地域住民と交流を深める「白いそばの花見会」が行われました。

当日は、市内外から10組30人の家族が参加。茨城キリスト教大学のボランティア学生や地域おこし協力隊などが協力し、クイズ形式のオリエンテーリングなどを楽しみました。

参加者は、そば畑に咲く白い花を眺めたり、地元の歴史や文化にふれながらのんびりと散策しました。散策の後は地元の方々と、米と小麦粉で作ったみそ味のおやき体験や、そばの花の押し花作りなどを楽しみました。



みんなで記念撮影。ハイ、チーズ



白いそばの花を見ながらクイズに挑戦したよ



親子でおやき作りに挑戦

ちょっと寄り道

小祭礼の花まとい



上宮河内町にある「ふるさと歴史民俗伝承館」には、小祭礼で使用した「花まとい」が飾られています。この「花まとい」は、6年に1度、丑年ひつじと未年の3月下旬、西金砂神社で行われる小祭礼の最終日に、西金砂神社の境内の行列「花まといの繰り込み」の際に使用します。「花まとい」は、花紙で色とりどりの花を作るもので、上宮河内・赤土・下宮河内・諸沢の4地区の氏子がそれぞれ制作し、小祭礼のときに西金砂神社へ奉納します。

現在、館内に展示されているのが、平成21年3月に行われた第198回の小祭礼で使用されたものです。次回の第199回は、平成27年3月の予定です。

来月は、上宮河内町の「上」つながりで、西河内上町さんをお願いします。



紹介者
上宮河内町
菊池勝美さん

今月は上宮河内町

地域おこし協力隊がゆく!!

つながりぼん



私たちが地域おこし協力隊です！【 】は主な活動場所



白石 百合乃【金砂郷地区】

長島 由佳【里美地区】

野寄 真衣【金砂郷地区】

石川 明紗【里美地区】

笹川 貴史子【里美地区】

COOPERATION PARTY OF LOCAL REVITALIZATION

ついに実現！里美 café in 水戸！！

昨年度から連携している茨城大学・茨城キリスト教大学の里美cafeチームが、9月4日に水戸市の泉町会館でONE-DAY CAFÉを実施しました。当日提供したメニューは、里美の野菜を使った夏野菜カレーのランチセット♪里美のむヨーグルトやジェラートもありました。悪天候にも関わらず多くの方が訪れ、食を通じて里美の魅力にふれてもらうことができました。学生からは「カフェをやることに精いっぱい、お客さんと話すことができなかった。メニュー



たくさんのお客さんでにぎわいました！



学生らしいかわいい看板♪

を通じてだけでなく、自分たちの言葉で魅力を伝えられたら良かった」という声がありました。反省点もありますが、自分たちだけでカフェをやるという一つの目標を達成できたことがとても良かったと思っています。そして学生たちから里美に対する真剣な想いも聞くことができました。



里美の野菜がたっぷりのカレー☆

次回のカフェの企画も出ていたり、大学の学園祭や「さとみ秋の味覚祭」にも参加する予定。他のチームとも連携して、地区内外で活発に活動をしていきます！今後も学生たちの活動から目が離せません！！

そばの花 シーズン到来☆

9月中旬は、そばの花の時期。そばの花の時期に合わせて、9月14日に2つのイベントが行われました。



子どもの率直な声も聞けました

午前中には赤土町の常陸秋そばの郷まもりたい主催の「はじまりは赤土！白いそばの花



白いそばの花でしおりづくり♪

見会 2013」。地域の方との交流をとおして、参加者に赤土を好きになってもらうことを目的に行われました。私たちはハイキングコースでのクイズを地域の方と考えたり、そばの花を背景にした撮影スポットで参加者の写真を撮ったり、そばの花でしおりづくりをしたりしました。赤土に来た思い出づくりをして、また来たいと思ってもらえたらと考えました。

夕方からの「常陸秋そばお花畑の夕べ」では、協力隊PRブースを出し、「金砂郷の好きなところ」「未来の金砂郷に望むこと」を書いてもらうワークショップを行いました。



いろいろな声が聞けました♪

子どもから大人まで、地元の方やそうでない方にも書いてもらうことができました。特に子どもの声が聞けた貴重な機会だったと思います。

ふるさとの 偉人



悲壮な決意と使命感
水道事業に人生を捧げた

片岡 倉吉



倉吉宅のがけ下に
あった太田七井の
一つ「お茶ノ水」。
当初この水を利用
し給水していた

片岡倉吉は、慶応3年（1867）、現在の磯部町生まれ。はじめ陸軍歩兵学校に進み、軍務を退役してからは、実家の酒造業に従事。その後木炭業、郵便局長、茨城無尽株式会社支那人など実業家として活躍する一方、水道の必要性を痛感するに至りました。

当時鯨ヶ丘は水の便が悪く、炊事・洗濯はもちろん、飲料水にさえ不自由することも。倉吉は昭和4年（1929）から水源地の調査に着手。全財産を投じてボーリングを実施し、苦難の末に翌年ようやく成功。昭和6年（1931）3月に太田水道株式会社を設立し、倉吉は専務取締役として先頭に立ち、事業を推進しました。

しかし、その年倉吉は、水道の完成を見ることなく急逝。葬儀の際には、太田町内の給水を断水して霊柩車に放水、町民は弔意を表したといえます。

水道事業は昭和7年（1932）から本格的給水を開始。昭和18年（1943）に町営事業に移管されました。（参考資料『常陸太田の歴史散歩』）

里まち交流券
中野→常陸太田
9月21日・24日



里↔まち交流掲示板

東京の学生が日帰り バスツアーを企画

9月21日、市観光物産協会と東京都中野区の旅行専門学校が共同企画した日帰りツアーが行われ、40人が参加しました。

ぶどう狩りや常陸秋そばの食事のほか、竜神大吊橋を巡る魅力満載の内容。

ツアーには、旅行専門学校が添乗員として同行。企画した学生の石和佐知子さんは、「人数が集まるか不安でしたが、キャンセル待ちが出るほどの盛況。常陸太田市は、観光地としてとても魅力的。ツアーをきっかけに多くの人に訪れてもらいたい」と語ってくれました。

中野区南台4丁目 町会ツアー

9月24日には、中野区南台4丁目町会の皆さん31人が、西山荘や市内の酒蔵見学、ぶどう狩りなどを行いました。昼食には、「地産旬食」をテーマとした料理が振る舞われ、常陸太田の初秋を満喫した1日となりました。



酒蔵を見学



竜神峡でジオツアーに参加



巨峰と常陸青龍の食べ比べ

第4回市議会定例会

第4回市議会定例会が9月6日から25日まで開かれました。平成24年度一般会計決算ほか、7特別会計・2公営企業会計決算を認定。また、平成25年度補正予算などの議案が提出され、いずれも原案どおり可決・同意されました。

【報告】

▼平成24年度決算に基づく健全化判断比率…平成24年度

決算では、本市は実質収支が黒字であり資金不足がなかったため、健全化判断比率は早期健全化基準を下回っており、健全な財政として報告

▼平成24年度決算に基づく資金不足比率…平成24年度決算では、各特別会計で実質収支が黒字であり、資金不足比率の数値は発生していないため、健全な財政として報告

【条例の一部改正】

▼市税条例：地方税法の一部を改正する法律の施行および前納報奨金制度廃止等に伴う改正

▼市高齢者生産活動センターの設置及び管理に関する条例：高齢者生産活動センターの管理運営を指定管理者に移行するため改正

▼市後期高齢者医療に関する条例：地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

▼市国民健康保険税条例：地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

▼市介護保険条例：地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う改正

▼市立小中学校設置条例：小里小学校および賀美小学校の統合に伴う改正

▼市民交流センターの設置及び管理に関する条例：市民交流センターの管理運営を指定管理者に移行するため改正

▼市道路線の廃止
道路現況調査等に伴う1541路線

▼市道路線の変更
道路現況調査および道路整備等に伴う40路線

▼市道路線の認定

▼道路整備および開発行為等に伴う2路線

【平成24年度決算認定】

▼一般会計、特別会計、公営企業会計：詳細は次号に掲載

▼平成25年度補正予算
一般会計（第6号）：消防救急無線等共同化整備事業費負担金、道路新設改良舗装工事費など6億4711万円を追加

▼国民健康保険特別会計（第1号）：歳計剰余金法定積立金など4億7069万7千円を追加

▼後期高齢者医療特別会計（第1号）：125万6千円を追加

▼介護保険特別会計（第1号）：3062万1千円を追加

▼下水道事業特別会計（第2号）：196万円を減額

▼農業集落排水事業特別会計（第2号）：822万6千円を減額

▼戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計（第1号）：132万円を追加

▼簡易水道事業特別会計（第2号）：114万3千円を減額

▼水道事業会計（第2号）：1127万1千円を減額

▼工業用水道事業会計（第1号）：25万9千円を減額

【人事案件】
▼市監査委員の選任：大和田隆氏（下大門町）の選任に同意

▼市教育委員会委員の任命：小林憲男氏（新宿町）の任命に同意

▼人権擁護委員候補者の推薦：大須賀治氏（西染町）の推薦に同意

▼人権擁護委員候補者の推薦：豊田洋子氏（小妻町）の推薦に同意

▼人権擁護委員候補者の推薦：五十嵐三枝子氏（松平町）の推薦に同意

【議員提案】

▼地方税財源の充実確保と合併市町村に対する財政措置の充実を求める意見書の提出：地方交付税の増額による一般財源総額の確保および合併市町村に対する財政措置の充実等を要望

▼新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出：消費税増税に当たり、複数税率の導入と新聞への軽減税率適用を要望

▼教育予算の拡充を求める意見書の提出：きめ細かな教育実現のための少人数学級推進、教育の機会均等と水準の維持向上等のため、教育予算の確保・充実を要望

▼環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉に関する意見書の提出：TPP協定交渉を進めるに当たり、適切に対応するよう要望



子どもの声が聞こえていますか

11月は子ども虐待防止推進月間です

問 子ども福祉課（管内線161）

オレンジリボン運動とは

「オレンジリボン運動」とは、子ども虐待防止のシンボルマークとしてオレンジリボンを広めることで、子ども虐待をなくすことを呼びかける市民運動です。

子ども虐待は、子どもの成長・発達にとって悪影響を与えるばかりか、時には子どもの命に関わる深刻な問題です。いち早く発見し、支援の手を差しのべるために、社会全体の協力が求められています。



一人ひとりにできること

子ども虐待の防止は、児童相談所や市町村などの公的機関だけで行えるものではありません。市民一人ひとりが「子育てにやさしい社会」を作ることが、子ども虐待の防止につながります。

- ◎虐待と思われる事実を知ったときには、通報してください。
- ◎子育てに悩んでいる人は、ひとり抱え込まずに相談してください。
- ◎虐待で苦しんでいる子どもは、がまんしないで相談してください。

命綱 その手が子どもの



中央児童相談所日立児童分室
☎0294-22-0294

市子ども福祉課
☎72-3111（内線161）



子育て中の親子に、やさしいまなざしを

ご近所や外出先で出会った子育て中の親子に、やさしいまなざしをお願いします。赤ちゃんにはほほ笑みかけたり、階段で困っている親子を見かけたらベビーカーの持ち運びを手伝ったり、そんな些細なあなたの行動が、子育て中の親子の心の支えになることもあります。

また、「子どもをひどく叱っている」など、気になる親子の様子があったら、声をかけてみましょう。育児の悩みを話せる相手（共感者）がいれば、もしかしたら心が少しおだやかになるかもしれません。

太田警察署からのお知らせ 夜間は反射材を着用しましょう

茨城県内では、今年7月末現在、交通事故で91人の方が亡くなっています。そのうち、夜間歩行中に車にはねられて亡くなった方は24人です。実に4人に1人が夜間にはねられ、そのすべての方が反射材を付けていませんでした。

反射材は、ドライバーが歩行者を見つげるために非常に有効で、反射材があれば防げる事故が多くあります。

反射材を付けてもらうことは、歩行者が交通事故に遭わないというだけでなく、ドライバーが歩行者をはねないでもすむことでもあり、ドライバーのためでもあります。ドライバーの視点からも、家族や周りの人に反射材の着用を呼びかけていきましょう。
問 太田警察署（☎73-0110）



秋のまつりシーズン到来!

みんなで行こう!

秋のおまつり

里美かかし祭

■とき 10月26日(土)～11月23日(日)

■ところ 里美ふれあい館イベント広場



農業のシンボル・田の守り神として親しまれてきた手作り「かかし」のコンテスト。約1カ月間展示され、多くの人でにぎわいます。

■問い合わせ 里美産業建設課 (☎82・2770)

竜神峡紅葉まつり

■とき 11月1日(金)～11月30日(土)

午前8時30分～午後5時

■ところ 竜神大吊橋周辺



常陸秋そばの新そばフェア/秋の味覚物産市/そば打ち体験教室/スタンブラリー/11月13日は渡橋料無料

■問い合わせ 水府産業建設課 (☎85・1116)

常陸秋そばフェスティバル

■とき 11月9日(土)・10日(日)

午前10時～午後3時

■ところ 交流センターふじ



新そば食べ歩き/特産物直売/そば打ち体験教室 など

※JR常陸太田駅前よりシャトルバスを運行(有料)

■問い合わせ 金砂郷産業建設課 (☎76・2117)

常陸太田秋まつり

■とき 11月16日(土)・17日(日)

午前10時～午後3時

■ところ 鯨ヶ丘商店街(東一・二・三町)



常陸太田市の秋を楽しむ地元特産品を販売。JA茨城みずほ農業祭や久自楽舞など、盛りだくさんのイベントを開催します。

■問い合わせ 商工観光課 (☎72・8071)

さとみ秋の味覚祭

■とき 11月2日(土)・3日(日)

午前10時～午後4時

■ところ

里美ふれあい館イベント広場

特産物即売会/千人鍋コーナー/屋外ステージでのイベント など

■問い合わせ 里美産業建設課 (☎82・2770)

里美カントリーファミリージツクフェスティバル

■とき

11月9日(土)・10日(日)

9日 午前10時30分～午後4時
10日 午前10時～午後2時30分

■ところ

里美ふれあい館イベント広場



県内外のバンドが軽快で陽気な音楽を演奏/手打ちそばの実演・販売

■問い合わせ 里美産業建設課 (☎82・2770)

第27回 都々逸全国大会

■とき 11月16日(日) 午前9時～

■ところ

生涯学習センターふれあいホール(入場無料)

常陸太田市に深い関わりを持つ都々逸(とつゆせんか)一坊(いっぽう)扇歌(せんか)によって確立された都々逸を、文化遺産として保存・普及するため、都々逸全国大会を開催します。

■唄の部門 課題曲「磯部たんぼのばらばら松は風も吹かぬに気もめる」と自由曲

■作詞の部 一般・少年の部に分かれ、課題の宿題句「常陸・太・田」と自由句

■その他 スペシャルゲスト 三遊亭金時(きんとき)による落語



■問い合わせ パルティホール (☎73・1234)

スポーツフラッシュ
(敬称略・丸数字は順位)

第46回県北中学校野球大会

「8月17日・18日・24日」山吹運動公園野球場ほか

- ①太田中 ②東海中 ③瓜連中 ③東海南中

第55回市青少年防犯柔剣道大会

「8月25日」大里ふれあいセンター(柔道)・水府海洋センター(剣道)

- 【柔道団体】▼小学生①常陸太田市柔道部②金砂郷柔道スポ少▼中学生①金砂郷柔道スポ少

【柔道個人】▼小学2年以下

- ①関秀仁(金砂郷) ②鯉沼琉生(大子) ③古茂田咲弥(大子)

▼小学3・4年男子①宇野沢流星(水府) ②関佑仁(金砂郷) ③小森信吾(水府)

▼小学5・6年男子①小祝陽祐太田) ②平塚龍生(太田) ③古川蒼(水府) ③小沼宏多(金砂郷)

▼小学女子①青砥里奈(金砂郷) ②吉井静香(金砂郷)

▼中学男子①瀨谷涼太(太田) ②鈴木奨(太田) ③小森雄貴(水府) ③田村凜太郎(金砂郷)

▼中学女子①後藤未咲(水府)

【剣道団体】▼小学男子①里神館A②里神館D③河内少年剣道会③里神館B▼中学男子①里神館②里美中③青藍会③水府中▼中学女子①里神館A

【剣道個人】▼小学低学年①春山潤(里神館) ②小松伯大(里神館) ③石井朝陽(里神館) ③興野笑里(里神館)▼小学高学年①泉妻昂佑(里神館)

②後藤大士(河内少年剣道会) ③西野太基(里神館) ③岡崎翔汰(里神館)▼中学男子①小川幸樹(里神館) ②宇野堯(青藍会) ③磯崎和範(水府中)

③高島樹(里美中)▼中学女子①高星さゆり(里美中) ②小川詩織(里美中) ③根本野々花(青藍会) ③高橋琴音(太田中)

第37回市民ミックスバレー

ボール大会「9月1日」山吹運動公園市民体育館

- ①アップ・リフティング ②西山会 ③フリーダム ③インリン

市少年相撲大会「9月8日」山吹運動公園相撲場

- 【団体】①天神林町 ②新宿町 ③中城町A

【個人男子】▼1・2年①黒羽

②照沼佑飛③竹林正太▼3・4年①玉井慎悟②日毛隆太③星野祥平▼5・6年①小祝陽祐②綿引悠斗③佐藤秀明

【個人女子】▼1・2年①高橋由珠②佐藤小雪③畑中彩希▼3・4年①高橋千裕②安嶋凜③吉井静香▼5・6年①村田萌菜②安藤百花③吉井結香

第66回市内職場対抗兼秋季軟式野球大会「9月1日・8日」大里ふれあい広場野球場

- ①市消防本部 ②佐都フレンズ

ご支援、ありがとうございます。

◆東日本大震災義援金 (7月24日～9月20日受入分)

太田中学校様 1万2756円
義援金累計 1億166万9838円

◆善意ありがとうございます

茅根町夏祭り実行委員会様 社会福祉事業のため 1万2527円
梶山司様 社会福祉事業のため 5千円

◆ふるさと常陸太田 (8月26日～9月25日受入分)

ふるさと納税により、寄附をいただいた方です。匿名の方(ひたちなか市) 3万円(未来を担う人づくり)

となりのまちから

【北茨城市】
第25回雨情の里港まつり

地元の海産物・農産物の即売やバザーも出店され、新鮮な山の幸・海の幸が味わえます。また、ステージイベントも盛りだくさんで、家族揃って一日中お楽しみいただけます。
*駐車場に限りがあるため、ご来場にはJR磯原駅・大津港駅、市役所からの無料シャトルバスをご利用ください。

◆とき 11月3日

◆ところ 大津漁港

◆雨情の里港まつり実行委員会 (北茨城市商工会 ☎0293-42-2511)

まちの話題 my town news

救急救命の大切さを訴える

「救急の日」の9月9日、常陸太田駅前広場において、救急フェア(市消防本部主催)が開催されました。

消防署の救急隊員や女性消防団員が、市民の方に心肺蘇生法およびAED(自動体外式除細動器)の講習を実施。また、高規格救急自動車を展示し、救急資機材の見学や体験乗車を行いながら、救急車の適正利用を呼びかけました。



いざというときのために心肺蘇生法を学ぶ



① 試食会に揃った料理の数々 ② 自分たちの作ったぶどうがどんなメニューに？ ③ メニューの一つ、牛肉と根菜の巨峰煮込み

ぶ ① ひたちおおたの旬の味を楽しむ① ぶどうを使ったメニューを満喫

8月31日～9月16日まで、市内飲食店8店舗で**常陸太田ファーム&キッチン「ぶどうフェス」**が開催されました。このイベントは、常陸太田の若手農業者と飲食店が連携して、市内農産物を使ったオリジナル料理を作り、新しい農産物の可能性を探るもの。第1回目の今回は、食材として「ぶどう」の新メニューが提供されました。試食会なども行い、試行錯誤しながら作られたメニューは、どれもおいしく、「ぶどう」の新たな可能性を感じさせるものでした。



① お母さんに抱っこされて楽しい梨狩り ② 「はい、お土産」と、うれしいサービス

梨 ② ひたちおおたの旬の味を楽しむ② 梨狩り体験楽しいな

9月9日、世矢幼稚園の親子32人が世矢地区の**梨園**で**梨狩り**を楽しみました。園児たちはおいしい梨の見分け方と採り方を教えてもらい、お母さんに抱っこされながら、どれがいいかなあと迷いながらもうれしそうに梨狩り。梨狩りを行った「幸水」は、常陸太田を代表する品種。袋掛けをせず木に実らせたまま完熟させるため、大変みずみずしく甘いのが特徴です。子どもたちは旬の味とともに貴重なひと時を過ごしました。



① 疾走するヤングライダー。雨にも負けずゴールを目指す ② 泥の影響でマシントラブルが多発

マ ③ うっかり八兵衛カップ 2013 秋の収穫祭 マウンテンバイクで白熱バトル

9月8日、雨の中、増井町のふるさとの森で**うっかり八兵衛カップ 2013 秋の収穫祭**が開催されました。これは15年前から開催されているマウンテンバイクレース。圧巻だったのが「4時間耐久チームエンデューロ」。あまりの悪天候に時間短縮も協議されましたが、県内各地から集まったチームは「自然と一体となるスポーツに雨はつきもの」と、トラブルが発生する中でも4時間たっぷり白熱バトルを展開しました。



① 点字の50音を教える講師 ② 点字器具で自分の名前に挑戦

点 ④ 学校支援ボランティア（点字）養成講座 点字について学ぶ

9月3日、社会福祉協議会において**学校支援ボランティア（点字）養成講座**が行われました。この講座は、小・中学校等で点字体験を支援している、点訳ボランティア「ぶどうの木」の皆さんが講師となり、小学校での点字の体験授業を再現しました。受講者は、点字の歴史や成り立ちなどの基礎を学び、実際に専用器具で自分の名前の点訳に挑戦していました。



1 里川カボチャとったぞー 2 仲良く里美音頭 3 みんなでくす玉割り

地域で一致団結 小里小で最後の運動会

9月14日、小里小学校として最後となる運動会が行われました。同校は来年の4月に賀美小と統合し、里美小として開校予定。今年は創立140周年の記念の年と重なり、PTAを中心に実行委員会を立ち上げ、心に残る運動会にしようと地域の方と合同の「くす玉割り」や「里美音頭」を企画。当日は晴天にも恵まれ、盛りだくさんの20種目にトライ。児童と住民が一緒になってさわやかな汗を流しました。



幅広い世代が懐かしの母校に集まった

ふる佐都自然塾 母校で三世代交流

8月24日・25日の2日間、旧佐都小体育館で佐都地区の小学生48人のほか、地域住民や保護者など約150人が参加し、ふる佐都自然塾が開催されました。24日は三世代ふれあいの集いとして、地域の高齢者たちと輪投げなどを楽しんだ後に、一緒にカレーの夕食をとりました。夜は体育館に宿泊し、翌日は勾玉を作った後、放課後子ども教室ボランティアの方々による流しソーメンを楽しみました。



1 ほのかな行灯の明かり 2 ヨーヨー釣り上手だね

常陸秋そばお花畑の夕べ そばの花に囲まれて夕涼み

9月14日、市健康センター屋外広場（下宮河内町）で、常陸秋そばお花畑の夕べが開催されました。満開のそばの花に囲まれた会場は、日が暮れると行灯に火が灯され、来場者は地元の出店者による模擬店での食事やスイーツ、特設ステージでの歌や演奏を楽しみました。秋のさわやかな風を感じる中、ゆったりとした時間を過ごしました。

福祉の担い手づくり

9月7日、総合福祉会館において地域介護ヘルパー養成講座（市社会福祉協議会主催）が開講しました。地域福祉の担い手育成や家族介護の向上を目的に開かれたこの講座は、中学生からシニア世代が対象で、福祉・介護の基本的な知識を学ぶことができます。今後、在宅での介護や地域でのボランティアとしての活動が期待されます。



積極的な姿勢で受講する皆さん

交通安全をドライバーに呼びかけ

9月3日、市の特産物である梨を配り、「事故なし」を呼びかける街頭キャンペーンが三才町の国道349号交差点で行われ、太田一高JRC部の生徒などがドライバーに交通安全を訴えました。交通事故防止を呼びかける啓発チラシとともに、JA茨城みずほ常陸太田梨部会から提供された梨500個を、信号待ちのドライバーなどに配りました。



市内の自然・史跡や特産品なども交えて見所をお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。地元の意外と知られていない名所や素晴らしい自然、見所を巡りながら、皆さんもぜひ歩いてみませんか。

ひたちおおた **てくてくウォーク** 29

常陸太田 文化課エコミュージアム推進室 (内線541)

下宮河内町ハイキングコース 距離：約 5.5km 所要時間：2 時間半

今回は下宮河内町を歩いてきました。宿泊もできる体験交流施設として人気がある「**かなさ笑楽校**」に駐車。地域の方と地域おこし協力隊が協力して作った、竹のモニュメントを見ながら三差路を右に進みます。金砂本宮のほか神社が二つと、牛馬供養之塔などが見られ、この土地の信心深さを感じることができます。また、浅川の清流や森の美しさ、さらに9月ごろには常陸秋そばの花を楽しむことができます。下宮河内町で豊かな自然と歴史にふれてみませんか。

3 牛馬供養之塔



農耕馬などの供養塔が集められている

4 愛宕神社



入口にはコンクリート階段があるが、奥が深く急傾斜の参道が長く続く

2 富士神社



びっくりするほどの急傾斜を登り詰めると、社はすでになく、山の頂上に小さな石の祠だけが残る

2 富士神社

1 旧金砂村役場跡



旧金砂村役場跡に大きな石のモニュメントが建てられている

6 金砂本宮



西金砂神社の本宮。大同元年(西暦806年)、「紫の雲のたなびく所に社殿を建てよ」とのお告げがあり、建てられたと伝えられる

7 浅川



堰があり、近くに浅川に住む生物たちの絵が描かれている

5 馬頭観世音



道路わきにひっそりと建つ。車で走ると気が付かない



稲木長寿会



常陸太田市天寿会



磯部百寿会



佐都公民館



松平老人クラブ



山田小学校



佐竹南台クラブ



谷河原高砂会

花と緑でやすらぎの地域づくり

今年度も開催された「第41回花と緑の環境美化コンクール（大好きいばらき県民会議・県教育委員会主催）」では、市から10団体が推薦され、8団体（左記のとおり）が1次審査を通過しました。どの花壇も、皆さんが手塩にかけた見事なものとなりました。

園児たちのギャラリー

今月は「宮ノ脇保育園」で～す(^0^)/

きりん組（年中・年長さん）

ぼく、わたしが育てたよ！

土を手でこねてバケツ田んぼを作りました。子どもたちは黄金色の稲を大喜びで収穫。「おにぎりにして食べたいな！」と期待に胸をふくらませています。



郡戸小学校

■児童数78人

児童が主役

郡戸小学校では、「自ら考え、思いやりのあるたくましい児童を育てる」を目標に、児童に寄り添い、児童一人ひとりの夢をはぐくむ教育を目指して取り組んでいます。小規模校ながら、地域と連携し、特色ある教育活動を展開しています。

今年度の児童の合言葉は「笑顔でチャレンジ郡戸っ子」です。6年生が中心となり決定しました。これにちなんで、「笑顔でチャレンジ隊」が発足。自分たちの学校は自分たちで良くしていこうという考えのもと、3年生以上の児童に参加を募り結成しました。あいさつ運動など、さまざまな活動に取り組んでいます。



あいさつ運動

ここが自慢

「郡戸小といえば自転車」。毎年実施される「交通安全子ども自転車大会」では高い知名度があります。過去には、県大会準優勝をはじめ入賞5回の実績があります。今年度は太田地区大会で10連覇を達成することができました。



10連覇達成!

地域との交流活動

毎年行われている三世代ふれあい教室は、学校と地域、公民館が一体となった一大行事。地域の「○○名人」に学ぶ体験コーナーなど、地域の方々のふれあいをとおして地域の良さを実感しています。昨年度は創作料理G1グランプリを開催。他にも「学校へ泊まろう」や「クリスマス・ファンタジア」など郡戸地区ならではの取り組みがあります。



G1 グランプリ

部活がんばります

太田中 男子ソフトテニス部



県大会出場が目標

緊張感の中、力強いショットが繰り返されるコート。2年生14人、1年生8人の部員の先頭に立つ主将の青木海里さんは、「声をかけ合い、ほめ合いながら集中して練習している。練習や試合をとおして、他の中学校の生徒とも交流を深め、友だちもたくさんできた」と話していました。指導する顧問の富田真司先生は、「上手下手に関係なく、必死に向かっていく姿勢が重要。試合の結果がどうであれ、厳しい練習に取り組み、それを乗り越えることで得るものがある」と語ってくれました。

南中 吹奏楽部



県コンクール金賞を目指す

昨年の県コンクールで銅賞を受賞した実力を持つ南中吹奏楽部。「吹奏楽はみんながわかりあえて楽しめるところが魅力。今担当しているクラリネットを上達させて、来年は金賞を目指したい」と語るのは2年生16人、1年生7人をまとめる渡谷健人部長。ピアノが専門という顧問の野地葉子先生は、「音楽はみんなで作るもの。意見を出し合い一つの作品にしていくなかで、友達の個性を尊重することや、仲間との絆、つながりの大切さを学んでほしい」と話してくれました。

写真を募集しています！

おめでとう！ はじめての誕生日



かわせみの
こーたん

元気に
すくすく

10月で1歳です！



かく
菊地岳くん

10月1日(山下町)



あいか
早川愛海ちゃん

10月2日(宮本町)



りんか
早川鈴花ちゃん

10月2日(宮本町)



ゆきね
菊池有希子ちゃん

10月3日(瑞龍町)



はるのり
後藤遥徳くん

10月3日(大里町)



ゆいど
名田部結叶くん

10月3日(内堀町)



ゆうま
田所侑磨くん

10月4日(栄町)



れな
安島玲奈ちゃん

10月5日(馬場町)



さわ
若林咲羽ちゃん

10月9日(亀作町)



ななこ
城石菜々子ちゃん

10月10日(宮本町)



れんど
相澤廉人くん

10月11日(山下町)



つかさ
井坂士くん

10月15日(西三町)



あおは
小田倉あおはちゃん

10月16日(山下町)



みなと
茅根湊士くん

10月17日(中城町)



たいすけ
小田部退助くん

10月20日(山下町)



じゆんや
田所詢陽くん

10月23日(金井町)



じゆんせい
清水順生くん

10月27日(薬谷町)



みなと
渡邊海翔くん

10月30日(幡町)

かわいすぎ



じょうづるさん

お子さんの満1歳の記念に写真を掲載してみませんか。掲載希望の方は、任意の用紙に必要事項を記入し、写真を添えてお申し込みください。

◇対象 市内に住所を有する平成24年12月
生まれのお子さん(12月号掲載分)

◇応募締切 11月7日(日)

◇必要事項 お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所、応募者(保護者)の氏名・電話番号

◇その他 メールの場合は写真データを添付してください(JPEG形式で3MB以内)。応募された写真は返却しませんのでご了承ください。

☎情報政策課広報広聴係(〒313-8611 常陸太田市金井町3690 / メールアドレス joho2@city.hitachiota.lg.jp / 内線 303・304)

表紙によせて 県武道館で行われた、インターハイ県予選での太田二高なぎなた部員の演技競技です。ピーンと張りつめた緊張感と静寂の中、2mを超えるなぎなたを自在に操りながら、気迫に満ちた技の応酬。勝敗はどうあれ、太田二高の選手たちが一番輝いて見えました！

発行 常陸太田市 / 編集 情報政策課 〒313-8611 常陸太田市金井町3690 ☎72-3111 (内線303・304) Fax72-3002

*広報ひたちおたは市のホームページでもご覧になれます URL <http://www.city.hitachiota.ibaraki.jp/>